

新型コロナウイルス感染症への対応 ～真壁医師会の取り組み～

2020年9月23日

真壁医師会 落合聖二

医療を通じて地域に貢献する

COVID-19の課題

医療的課題：ワクチン・治療薬・医療機器・病床・その他の医療資源の不足

経済的課題：自粛と休業による経済不況、医療機関も減収

社会的課題：いじめ・誹謗中傷などの風評被害

医療資源に乏しい当会管内の取り組み

課題：中等症以上の受け入れ施設が無い
⇒ 筑波・水戸の感染症指定医療機関に依存

取り組み：

検査の充実：早期発見・早期対応、インフルエンザへの備え

検査体制：帰国者・接触者外来（行政検査）

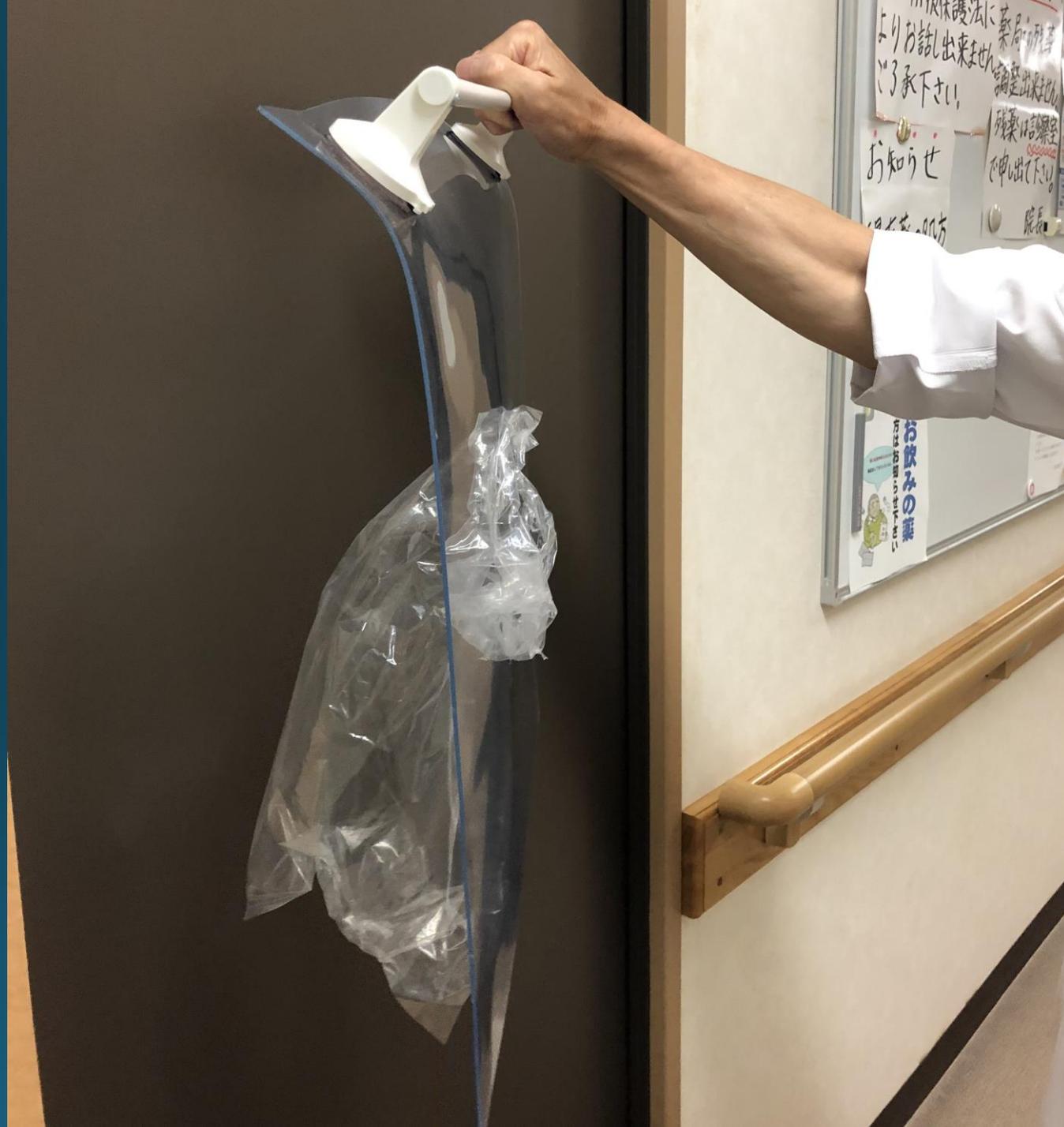
地域外来・検査センター（保険診療）

かかりつけ医；（仮）診療・検査医療機関（保険診療）

当会の対応

1. 巡回診療PCR検査センター：地域外来・検査センターとして
筑西市の協力で2020年5月19日開設、保険診療
週3回（火・木・土）
午後1時30分から4時30分まで、予約制
医師2名・事務局4名体制、検査会社；SRL ＊参加医師16名
感染予防の工夫：PPE＋穴開きボードの使用・唾液検査
ドライブスルー方式
検査結果：翌日午後6時、結果報告；次の検査日
実績 績：8月31日までの実施状況
検査日数；44日、人数；201人、陽性3名・陰性198名





よりお話し出来ません
ご承下さい
お知りせ
院長

お飲みの薬
お知りせ



2020年5月18日(月)

《新型コロナ》筑西にドライブスルーPCR検査センター 開設前に手順確認

19日から週3回

0 tweet B! 0 チェック シェア 78

ドライブスルー方式のPCR検査センターが19日から筑西市内に開設されるのを前に、設置者の市や真壁医師会の関係者が17日、検体採取のリハーサルを行った。防護服などで身を固めた落合聖二医師(66)=同医師会長=らが、新型コロナウイルス感染の有無を調べる患者から安全に検体を採取するための手順を確認した。患者役は須藤茂市長らが務めた。



ドライブスルー方式のPCR検査センターのリハーサルで、患者役の須藤茂市長から検体採取を行う真壁医師会長の落合聖二医師(左)=筑西市内

検査は火、木、土曜日の週3回行われ、1日当たり2人の医師が、最大で患者約15人の検体採取を行う。ドライブスルーのPCR検査体制を市町村が整えるのは、県内で初めてとなる。

茨城新聞 2020年5月18日

検査は予約制で、同医師会に所属する筑西市、桜川市、下妻市、八千代町のかかりつけ医の紹介が必要。車で来訪できる人だけに限られる。患者が直接訪れても検査は受けられない。市は国の指針に従い、センターの所在地も公表しない。

落合医師は、センターの役割として▽患者の症状のトリアージ(選別)を通して医療崩壊を防ぐ▽かかりつけ医の負担を減らす▽市民の不安を払拭(ふっしょく)し地域経済を早く立て直すきっかけとする-の3点を強調。「確実に症状のある人を検査していく。患者をトリアージして医療につなげることがPCR検査に求められている。医師会としても頑張っ



2. かかりつけ医による検査：（仮）診療・検査医療機関

インフルシーズンに備えてPCR検査とインフル迅速キットの同時実施

8月31日現在；23医療機関が茨城県と委託契約、保険診療

検 体：鼻咽頭拭い液または唾液

方 法：PCR法またはLAMP法

課 題：判定までの時間、要因は移送時間

※ 県内の民間検査会社であれば、半日で判定可能
インフル迅速検査との時間差が問題

3. 新たな手段

課題である移送時間短縮のために；地元検査ラボを設置
検体；鼻咽頭拭い液または唾液

検査方法：LAMP法

実質検査時間は35分程度；精度はPCR法と同等

※抗原検査は精度に課題

地元の検査会社セントラルと委託契約、2時間程度で結果判明

※PCR検査センターの利用でコロナ陰性確認後にかかりつけ医で
インフル迅速検査も可能となる

※同時検査でなくとも、同日に診療完結が目指せる

4. 社会的課題への対応：風評被害対策

検査医療機関の増加でCOVID-19の恐怖と不安を軽減

筑西保健所管内の検査可能医療機関；現在約35施設

科学的根拠に基づいた住民教育；新型コロナの寿命等

行政による啓発；市長からメッセージの発出

How long the new coronavirus can live on surfaces

SURFACE	LIFESPAN OF COVID-19 VIRUS
 Paper and tissue paper**	3 hours 
 Copper*	4 hours 
 Cardboard*	24 hours 
 Wood**	2 days 
 Cloth**	2 days 
 Stainless steel*	2–3 days 
 Polypropylene plastic*	3 days 
 Glass**	4 days 
 Paper money**	4 days 
 Outside of surgical mask**	7 days 

*At 69.8 to 73.4°F (21 to 23 °C) and 40% relative humidity **At 71°F and 65% relative humidity

Source: New England Journal of Medicine*; The Lancet Microbe**

BUSINESS INSIDER

『新型コロナウイルス感染症に関連した人権尊重への願い』

筑西市長 須藤茂

新型コロナウイルス感染症に関連した人権尊重への願い

新型コロナウイルス感染症は、新型病原体ということもあり不明なことが多く、誰もが感染し、広げてしまう可能性があることや重症化することがあるため、私たちは、大きな不安を抱きながら日常生活を送ることを余儀なくされております。

現在、密集、密接、密閉といういわゆる「3密」を避ける新しい生活様式が求められており、一人ひとりが感染のリスクを理解し、想像力を働かせながら危険を避ける行動をとっていくとともに、社会全体としての連携と協力が必要です。

こうした状況のなか、感染された方やそのご家族、濃厚接触者に対する偏見や蔑視、医療・介護関係者に対する^{ひぼう}誹謗中傷等があったことが報道されています。仮に事実であるとすれば、極めて残念なことです。

感染は誰にでも起こり得ます。正確な情報に基づき、冷静な対応をとることが何よりも大切なことです。

については、新型コロナウイルス感染症の早期収束を願うとともに、併せて、市民と市が一丸となり、新型コロナウイルス感染症に関わる全ての方々の人権が尊重されることを願います。

5. 経済活動への応用は？

PCR検査等を活用し、経済の活性化に繋がられないか
現在模索中・・・・・・・・

ま と め

当会管内は入院施設等の医療資源が乏しく、ワクチン・治療薬も未確定検査の充実を図ることで早期発見・早期対応を目指している

地域で可能な検査体制として保険診療による検査を拡充

巡回診療PCR検査センター；行政の協力が必要

かかりつけ医による検査体制；インフルシーズンへの備えにも

地元検査ラボの設置；民間検査会社の協力

保健所業務の負担軽減に繋げる

社会的課題への取り組み；風評被害対策を展開